

## 理工学部 ダイバーシティ・ステートメント

私たち理工学部は、性別、年齢、国籍、文化的背景、宗教、障がいの有無、性的指向や性自認など、あらゆる違いを尊重し、それらを活かすことが科学技術の革新と社会の持続的発展に不可欠であると確信しています。

私たち理工学部は、教育・研究・社会貢献のあらゆる場面において、誰もが能力を最大限に発揮できる機会を保証し、無意識の偏見や差別を排除する努力を継続してまいります。そのため、以下に示す学部環境づくりに取り組みます。

### 1. 女性・マイノリティ研究者の育成支援

- ・女性教員採用の積極的推進（公募段階でのジェンダー配慮）
- ・女性リーダー育成推進室の新設
- ・ワークライフバランス支援（時短勤務、在宅勤務制度の整備）

### 2. 学生の多様性支援

- ・海外・地方出身学生のための生活・学習サポート体制の強化
- ・経済的困難を抱える学生への奨学金や支援制度の周知・拡充
- ・授業・試験時の合理的配慮（ノートテイク、字幕付講義など）

### 3. インクルーシブな環境・施設整備

- ・無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）に関する教職員研修
- ・バリアフリー設計（エレベーター、スロープ、点字案内など）の整備
- ・LGBTQ+に配慮した学生相談・トイレ環境の整備

これらの取り組みに対し、学部長のリーダーシップのもと、理工学部運営会議において毎年度、現状の把握および課題の整理を行い、その結果を組織内に公表することで、多様性に関する継続的な対話と意識の醸成を図る契機といたします。

私たち理工学部は、多様な価値観の融合によって生まれる創造性と協働の力を原動力とし、未来を切り拓く学術と人材を育成してまいります。